

2009年

6月26日

その恋は
新たな始まりを迎えた

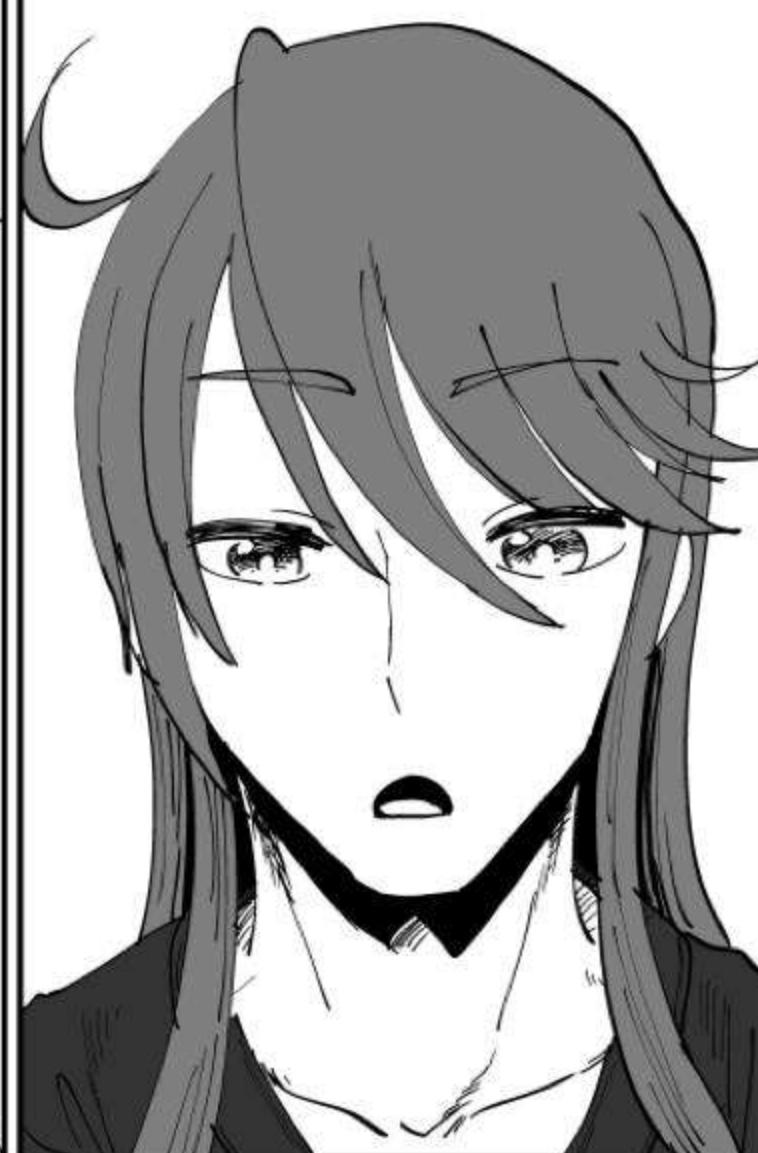
おお兄ちゃん
すす…好きです!!
わ私と…
付き合つて
ください!!

GUMI
です!

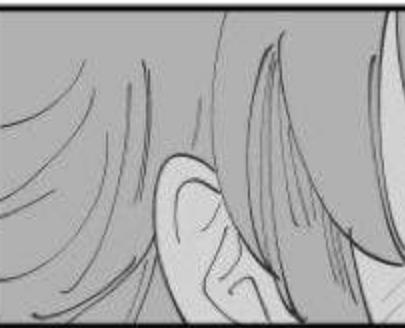
今日からよろしく
お願ひします!

初めから
聞かされていた
「神威がくぼ」という
長い研修期間の
あいだ
兄の存在

ダンシング☆侍



ほとんど
一日惚れだつた



いや…今日から
家族になるというのに



そんな意気込みも空しく
特に進展もないまま

半年が
過ぎようとしていた



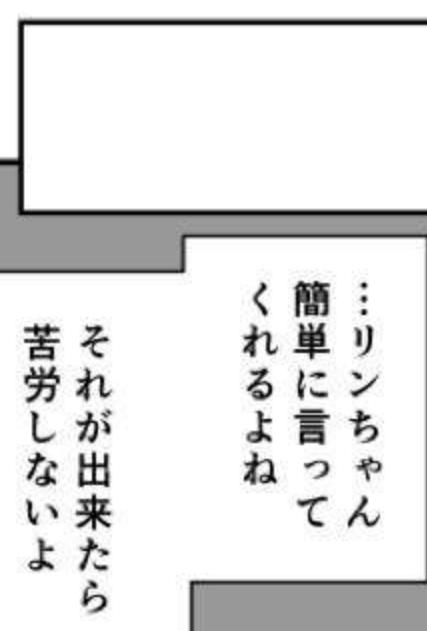
ねえリンちゃん
レン君はどうなの
あの子も結構
クールな感じ
だけど：



でもがっくん
大人だからなあ
レンほど単純じゃ
ないんじやない?

そーなの：
私もそれとなく
アピールしてるんだけど
全然意に介さないって
感じで：

じゃあもつと
強引にいってみたら?



私にはムリ：
だって私はただの
オナニー好きな
スケベ娘

それにお兄ちゃんが
“そういう事”に消極的なら
私はそれを尊重したい：

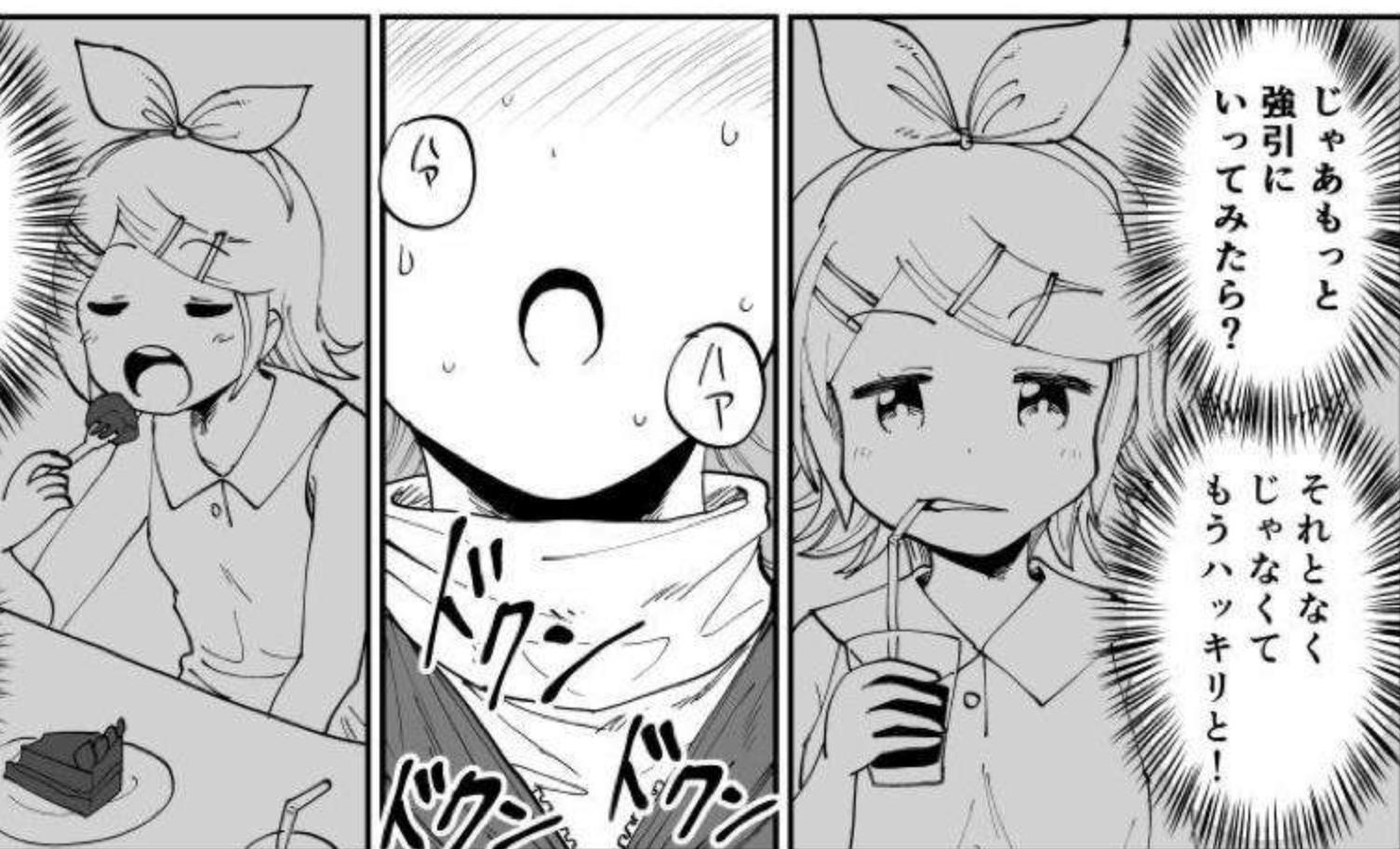
それも含めて
お兄ちゃん
だもん

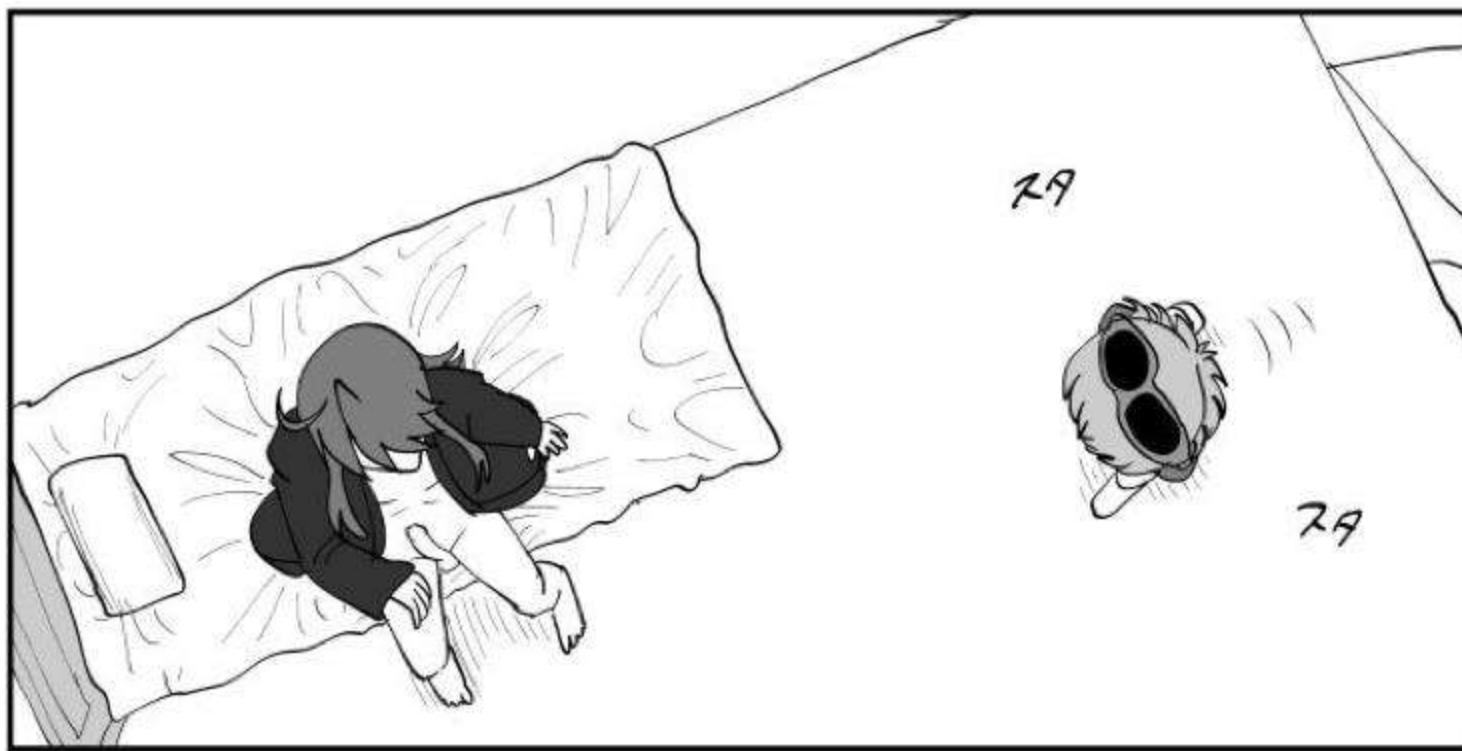


珍しいな
お兄ちゃん
こんな遅くまで
起きてるなんて：

それも含めて
お兄ちゃん
だもん







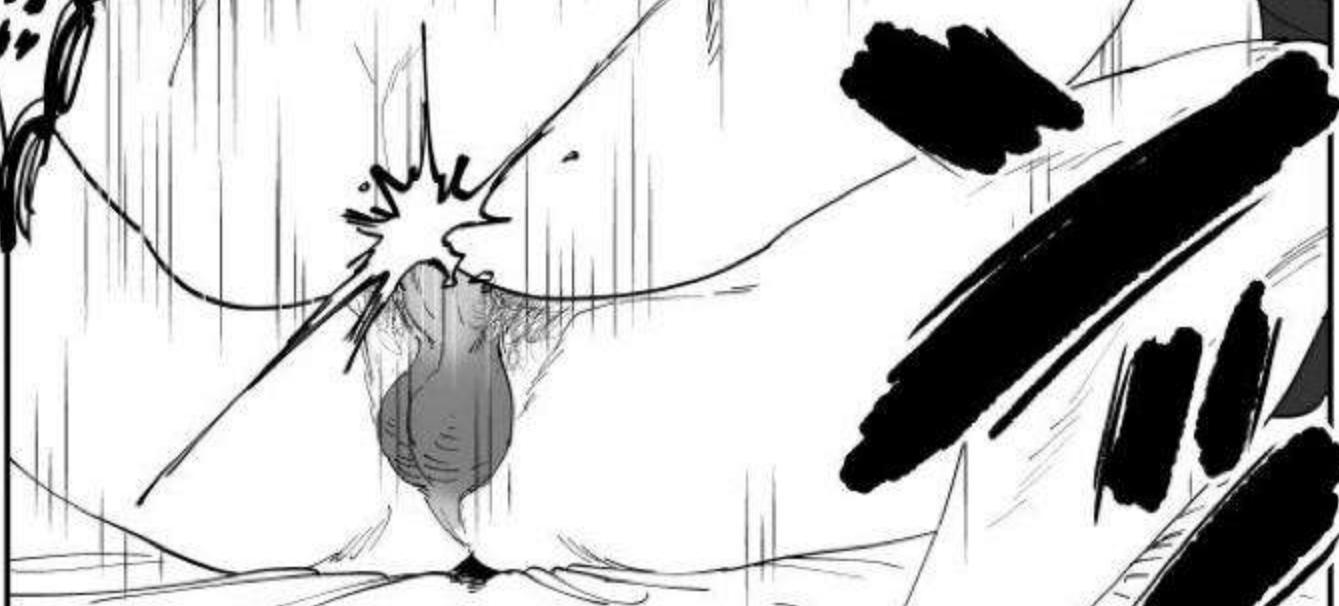


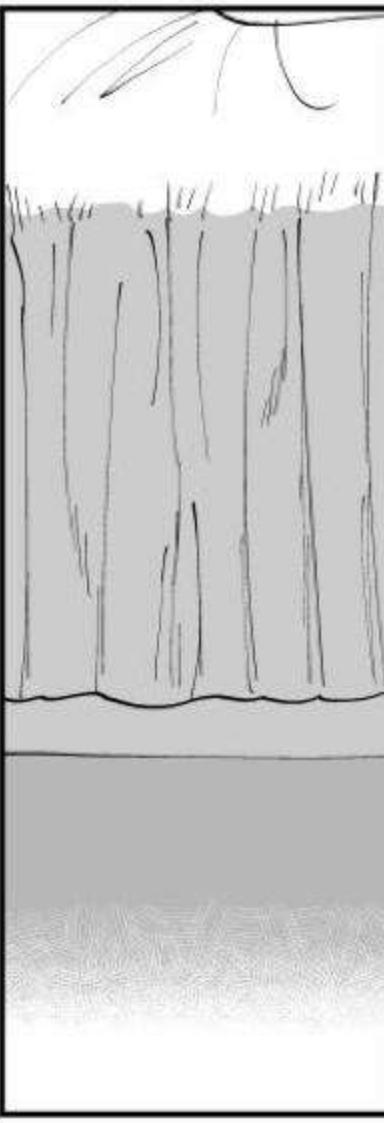
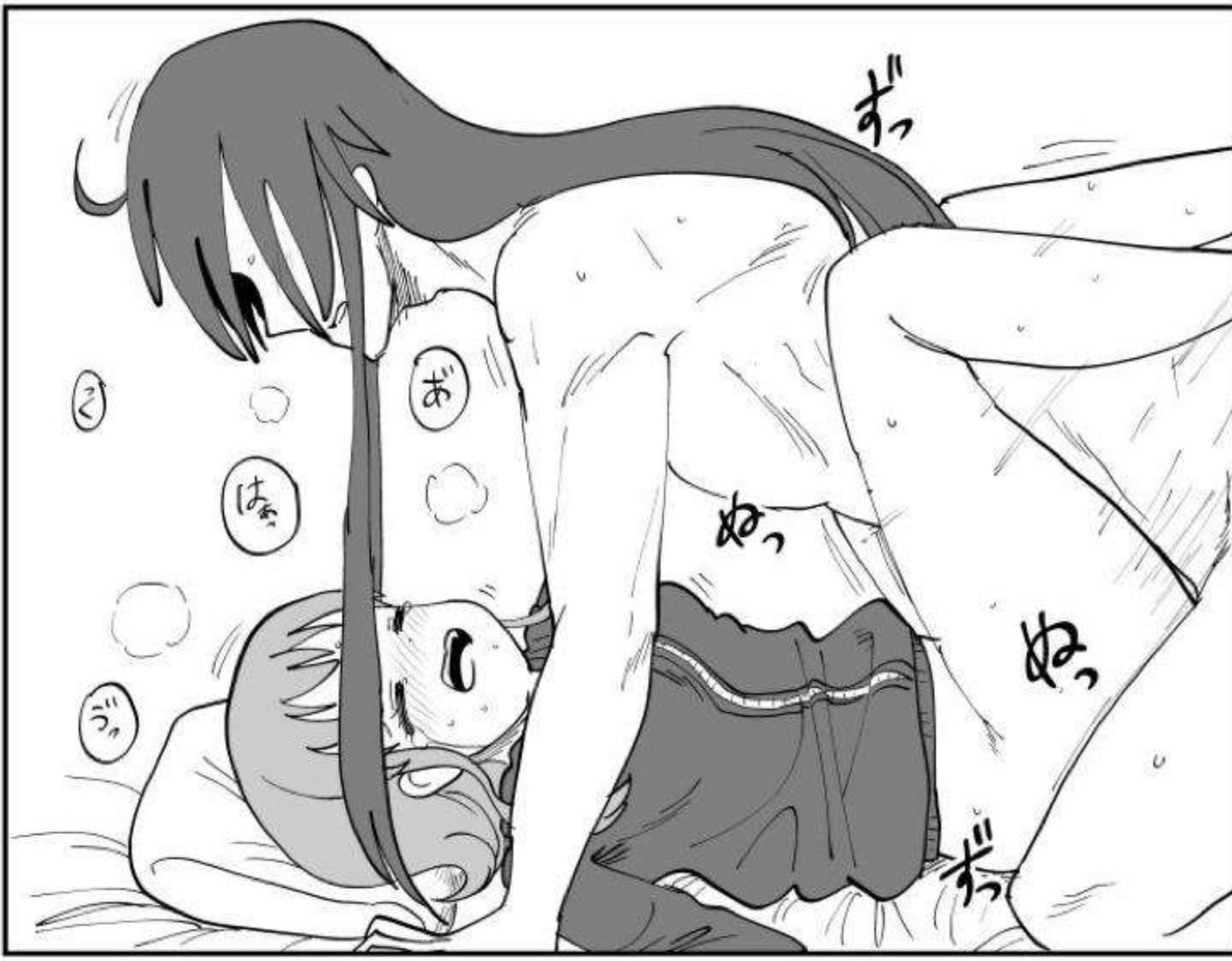
無理
みたいだ

悪い



あっ…





私たちの
恋は

セックスから
始まつた

初めてのセックスは
とにかく夢中で

一心不乱に
貪っていた

ただただ
お兄ちゃんと一つに
なれた事の悦びを

痛みも忘れ
気持ちいいも
よく分からなかつた

初体験の
時の話

これが私と
お兄ちゃんの

何の変哲もない

ただの怒氣話





